

The Isolation Game.

アイソレーションゲーム
Kantai Collection Heavy Cruiser Haguro Fanbook



私はただ...
あなたの**特別**に...
なりたかったの...

R18
Adult Only

私はただ…

どうぞお入り下さい

あなたの特別に
なりたかったの…

司令官さんっ…!!

甲斐

今日は
いつもよりちょっと
お早いですねっ

すみませんこんな
格好でのお出迎えに
なってしまうて…

ふふっ…

あっ

エプロン姿も新鮮で
可愛いよ…

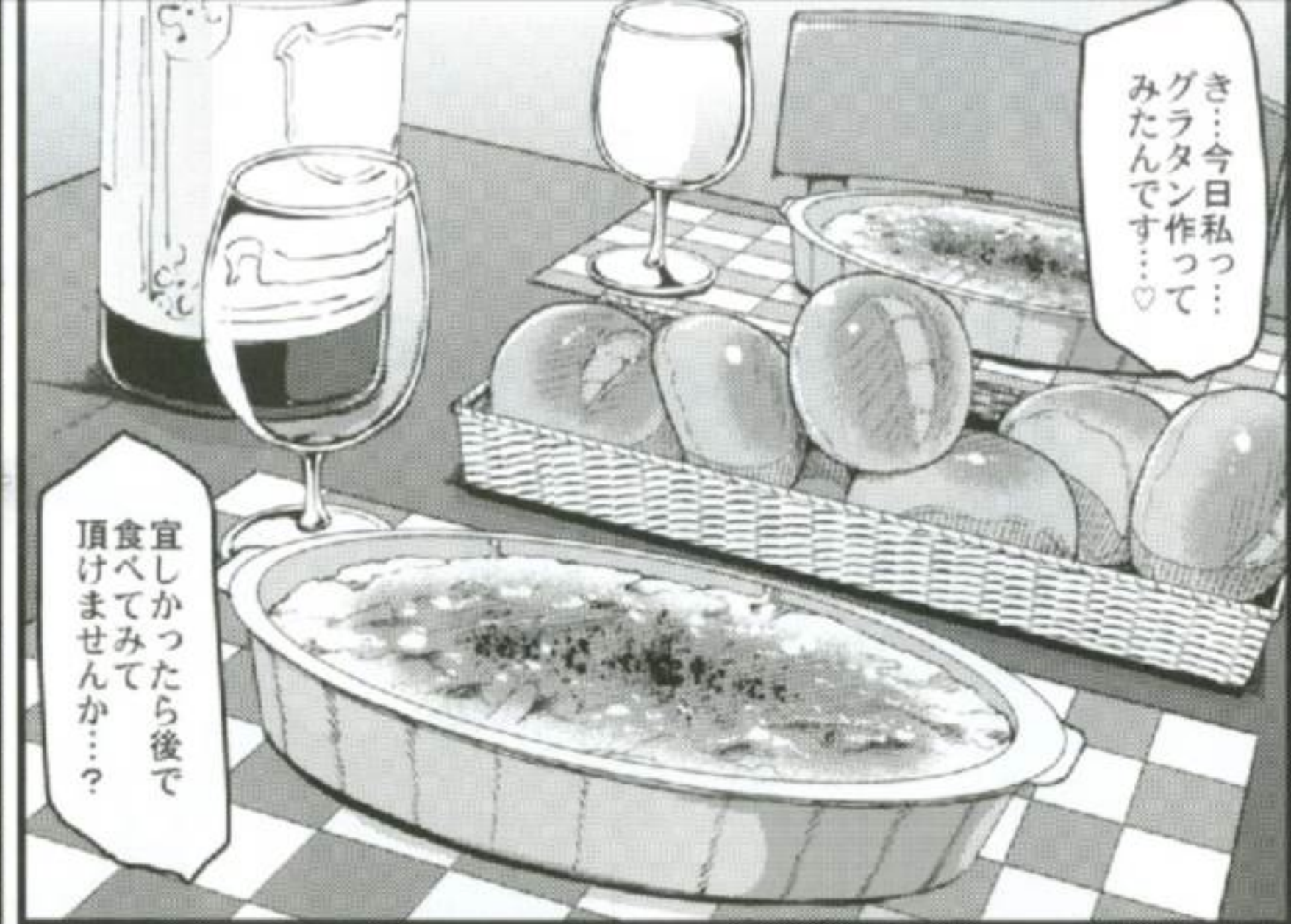
早く羽黒に会いたくて
急いで帰った甲斐が
あったな…





そ…その…

妙高姉さんみたいに
上手ではないかも
しれませんが…



き…今日私つ…
グラタン作って
みたんです…♡

宜しかったら後で
食べてみて
頂けませんか…？



これなら

羽黒を
お嫁さんにする男は
幸せ者だな

!!



いやいや
これはすこいな
驚いたよ

美味しそうに
出来てるじゃないか

…♡



さあて
それじゃあ

きやつ…

ずるい…



あ…

ありがとう
ございます…

司令官さんは…





そ…
そんなっ

会ってまだ30分も
しない内にこんな
マンコ濡らして

違わないだろ？

ズルッ

ねくまっ♡

あっ…

ちがいまっ…

ちん

ちん

メス臭プン
漂わせてる
スケベ娘だもんな
羽黒は

ま ああ♡



あああっ…!!

たろ

ほ…本当に
汚いですからっ!!
あっ…!!

今日まだ
シャワー
浴びてなくてっ…!!

あっ…だっ
ダメですっ!!
舐めるのはっ!!

やだっ…!!
やだあっ!!

ああ…
すごい匂いだぞ
羽黒



ああ…
すごい匂いだぞ
羽黒





はーっ♡♡♡♡♡

はーっ♡♡♡♡♡

はーっ♡♡♡♡♡

はーっ♡♡

はーっ♡♡♡

はーっ♡♡♡♡♡



司令官さんは…
エッチがとても
上手で…



頭の中
痺れちゃうくらい
気持ち良いこと…
してくれ…



さあ羽黒…
自分ばかりで
感じてないで

今度は俺を
気持ちよくして
くれるよな

は…はいい…
ご…ごめんなさい…♡

この人じゃなきゃ…
私…もうきつと
ダメなんだ…





いや
まだまだ書類の整理が
終わらなくてな...

そ...そこにネコが
邪魔に入つて...

ははっ
まあ可愛いのは
わかるがなっ

ネコ...
確かに姉さんから
見たら私は...

泥棒ネコって
ことだよな...



妙高姉さんも...
司令官さんも...
大好き...

その大好きを
伝えるのがどうして
いけない事なのかな...

は...羽黒っ...
もう本当じっ...

うっ...



こ…興奮…
しませんでしたか
司令官さん…♡

姉さんに
バレちゃうかもって
想像したら…私…
すごくドキドキ
しちゃいました…♡

ふ…ふふ…

悪い子だな
まったく…



この前まで
処女だったなんて
思えないよ…

いつからこんな
淫乱になって
しまったんだ羽黒は

し…司令官さんの
せいじゃ
ないですかあ…♡

あ司令官さんが…
そんな羽黒を
望むなら…



私は…
どんな羽黒にだって
なれます…

し…司令官さん
今日は
安全日なので…

避妊具無しで
挿れて頂いても…
大丈夫ですよ…♡

もし出来ちゃったら
羽黒だって困るだろ？

あっ…♡

私は構いません…
なんて言ったら…
引かれちゃうかな…

挿れるぞ

司令官さんの
赤ちゃん欲しいです…
なんて言ったら…

もう会いに来て
くれないかな…



やっぱりお前の
膣内は俺のチンポと
最高の相性だ

濡れ具合に締め
ヒダの絡みつき…
そして
この敏感な反応

ああ…
良いぞ羽黒
いい具合だ





わ…私…は…っ…
あ…っ…あ…あ…っ…
♡



姉妹で…こうも
違…う…と…は…な

あ…♡
あ…り…が…と…う
ご…ざ…い…ま…す…っ…
♡



司…令…官…さ…ん
だ…け…の
モ…ノ…で…す…っ…
♡

あ…あ…っ…
あ…あ…あ…っ…
♡



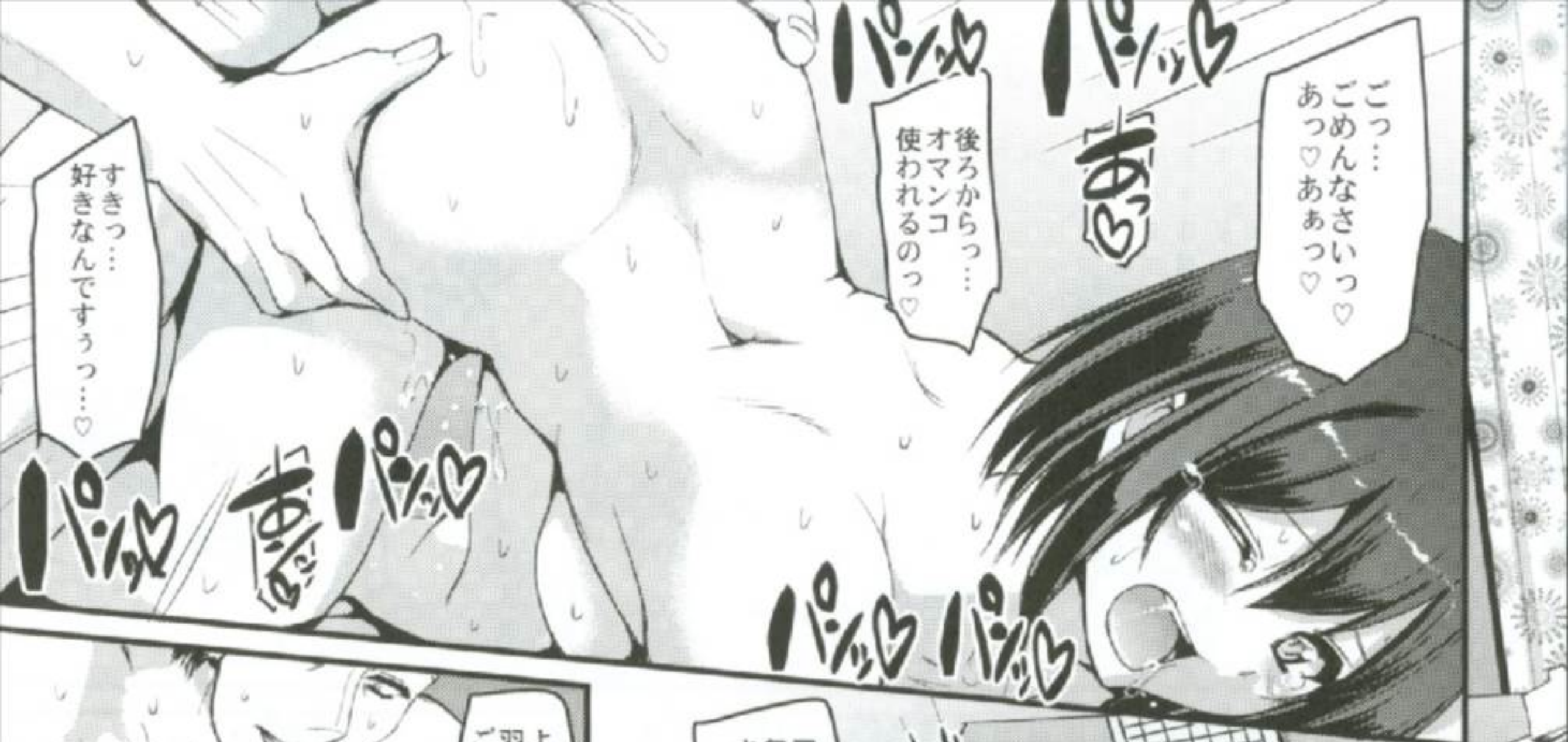
好…き…っ…
好…き…っ…
あ…あ…っ…
♡

司…令…官…さ…ん…っ…
好…き…イ…ッ…
♡

あ…っ…あ…っ…
あ…あ…あ…っ…
♡

好…き…っ…
好…き…っ…
大…好…き…い…っ…
大…好…き…い…っ…
♡





ごっっ…
ごめんなさいっ♡
あっ♡ああっ♡

後ろからっ…
オマンコ
使われるのっ♡

すきっ…
好きなんですうっ…♡



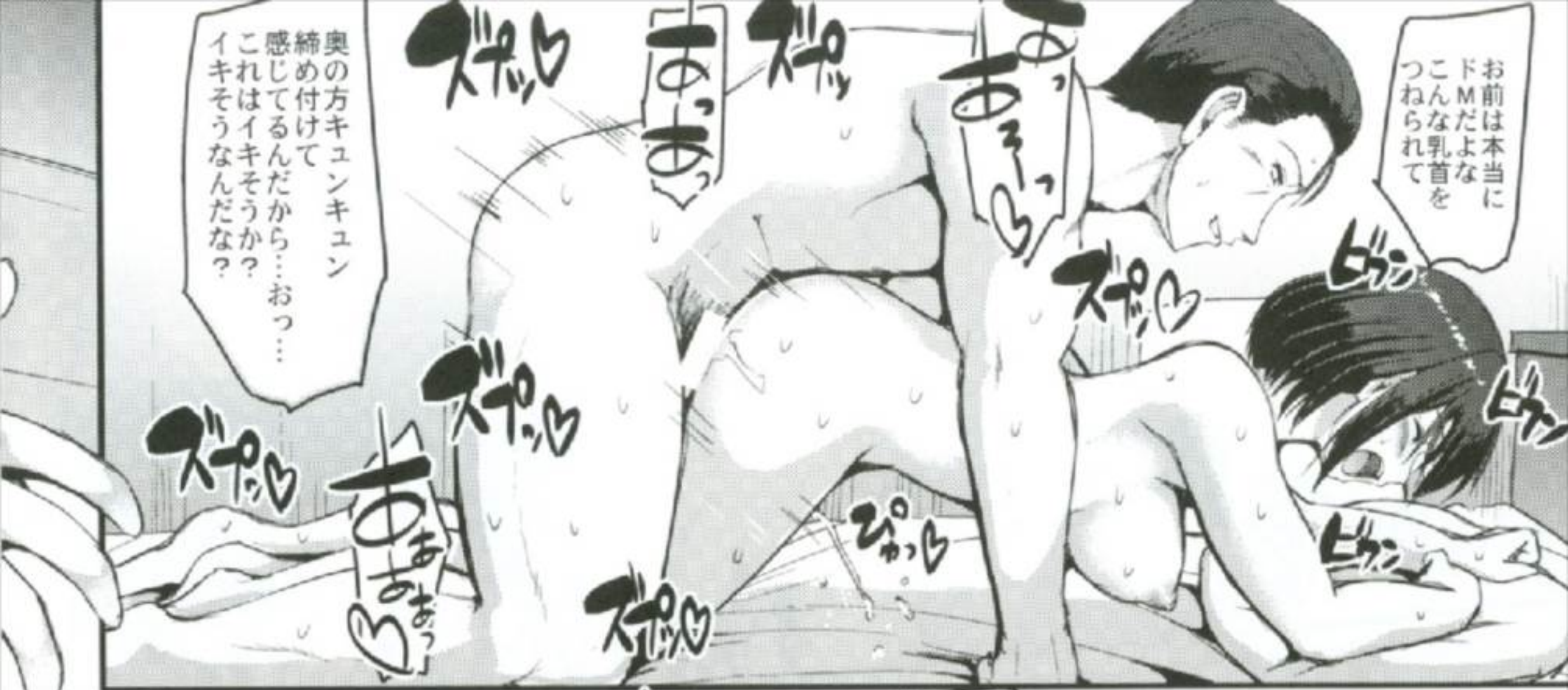
よく言えたな
羽黒
ご褒美だ

司令官さんのっ♡
気持ち良いおもちゃに
されるのっ♡



大好き
なんですうっ♡





お前は本当に
ドMだよな
こんな乳首を
つねられて

奥の方キyunキyun
締め付けて
感じてるんだから...おっ...
これはイキそうか?
イキそうなんだな?



気持ちイイっ...♡
けど...こんな風に
イクのは...
やだよおっ...♡



また大声出して
イク所を
見せてみる!

ほらいいぞ...
普段大人しい
お前が



だってっ...私はっ...
私は司令官さんのっ...

お...お願いします
司令官さんっ...♡

前からっ...
前から挿れてっ...♡



最後は...ギユって抱きしめて欲しいですっ...

はー♡

司令官さんとキスしながら...

息が...出来なくなっ...

一緒にいきたいですっ...

抱きしめて...強く...

よおしっ...その代わりに大きなアへ声出して思い切りイクんだぞっ...

大好き以外何も考えられなくなるくらいに...





あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ



このまま永遠に…
時間が止まって…
しまえばいいのに…

は…はい…
司令官さん…

あ…
ありがとうございます…
ごさいます…

あまのこ
あまのこ
あまのこ



幸せな時間は…
いつも一瞬…

そんなに
気持ち良かったか

今日もまた随分と
大声でイケたな
羽黒

あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ



ごめんなさい…

さっきの電話の件もあるし…変に遅くなったらマズいだろ？

ああ…

え…も…もうお帰りになるんですか…？



やっぱり羽黒とのセックスは最高だよ

妙高はこっちの方もどうもお堅くて退屈でな

あ…ありがとう
ございます…

さて…それじゃあそろそろ…



いやいや俺の方こそ

グラタン…食べられなくてごめんな

あつ…い…いえつまたいつでも作りますから…



ですから…
そ…そのっ
司令官さんっ…！！

また…いつでもいらして下さいねっ…！！

羽黒っ…ここで待っていますからっ…

またっ…
いっぱいご奉仕も
しますからっ…！！



大丈夫だよ

またすぐに会いたくなくて来てしまうからさ

んっ…

その「会いたい」は…私への愛しさからなんかじゃなく…



ただ寂しさからだつてこと…
ちゃんとわかってる…

じゃあまたな
羽黒

あつ…し…
司令官さんっ
あのっ…最後にっ

す…好きって…

近づけば離れ…
離れれば近づく…
あなたとの距離…

あつ…

想いは平行線を辿り
永遠に交わらない…

そんな
結局孤独な
恋愛…

でも…これは…

うっ…

うっ…

私が始めた事…
私が選んだ道…

これが出口のない
恋だなんて…

うっ…
うっ…
うっ…

最初から
わかっていただけなのに…

あああああ
あああああ
あああああ

何度
もう諦めようと
思っても…

目の前の孤独に
耐えきれず…

弱い私は
結局…

小さな愛情の欠片に
すがり付いてしまう…

あなたの思い通りの
羽黒で居れば…

また…明日も…
笑顔でいなきゃ…

また…東の間でも…
愛してもらえから…

でも…本当は…
本当は…

私はただ…

あなたの特別に…
なりたかったの…



あとがき。

このお話の羽黒ちゃんが僕の最初に羽黒ちゃんに抱いたイメージなんです。

初めましての方は初めまして、お久しぶりの方はお久しぶり。
サークル人生横滑り。の荒岸来歩です。

毎度おなじみ羽黒ちゃん本もかれこれコレで7冊目になりました。
振り返るとそんなに出してたんですって自分でも驚きます。

ココ最近では毎回、羽黒ちゃんにメイド服着せてみたり、
オナニー狂いにさせてみたり
羽黒党員から後ろ指差されまくりな感じの
おバカスケベ羽黒ちゃんのお話ばかり描いていましたが、
今回は3年前の一番最初の羽黒ちゃん本
「Towards Dead End」のテイストを彷彿させる
ちょっぴり暗いお話に仕上げってみました。

引っ込み思案で末っ子の羽黒ちゃん
男性にも免疫がないこの子の前に現れるのは
優しく、頼りになる大人の男性の司令官さん。
姉の妙高さんの旦那と知りながら
恋に落ちてしまいます。
そして恋愛経験の乏しい羽黒ちゃんは
求められるまま身体を許してしまうわけです。
恋愛において女のコの重要な手札である「セックス」を
駆け引きの未熟な彼女はすぐに出してしまう…

そんなその後の羽黒ちゃんの負け試合。
これはそういうお話なワケです。
必死で努力をして、彼の気を惹こうとしても、
その気なんてサラサラ無い司令官さんにはぐらかされ、空回り。
せめて愛人としてでも一緒にいたいと願う彼女の虚しさ。
そんな心の機微みたいなモノが表現できていたらいいなと思います。

お話が重くなっちゃった分
スケベシーンのテイストをいつもと若干気色を変えて、
なるべく生々しくちょっぴり品のない感じに仕上げってみましたので
実用性は確保できてると思います…できてるといいな…(不安

羽黒ちゃんみたいなタイプの女のコの恋愛って
正直こんな感じになっちゃうと思うんですよね。
反応次第ですが、次はなるべくまた
優しい世界でおバカスケベな羽黒ちゃんを描こうと思いますので
その時はまたぜひおつきあい頂ければ有り難いです(土下座

ラストシーンで彼女は引き金を引いてしまうのか、
引き金を引いた先に何があるのか。
その先はあなたの心のなかで確かめて下さい。(Vジャンプ的オチ

2016/12/26

人生横滑り。

荒岸来歩



羽黒っ……!!

きやっ!!



大丈夫
羽黒っ!?

今日は敵の砲火が
かなり激しいわ
無理しないで

ここは私たちに
任せて羽黒は
少し下がってなさい



ああ…

なんだ…

最初から…

こうすれば
よかったんだ…



私はただ…

あなたの特別に…

なりたかったの…

発行日:2016/12/31
発行:人生横滑り。
発行者:荒岸来歩
印刷:FREAK



「腰…ムキムキ…
お尻…ムキムキ…」

「また…いっぱいご奉仕も
しますからね…」

「最後につ…
す…好きって…」

Presented by
「人生横滑り。」